

森の風の記憶 vol.97

令和3年度 春号(通巻97号) 5月1日発行 まちむら応縁倶楽部



ドローン撮影：WAGEN・岩上 浩平

令和4年度となりましたが、コロナ過も相変わらずの中、ロシアによるウクライナ侵攻で連日、悲惨な映像が流れていて心が痛みます。様々な理由があるにしても許される事ではありません。

文明は、日々進歩していますが人類はさほど進歩していないのではと思わされるこの頃です。

そんな日々の中、3月13日に諸塚山山開きが開催されました、3年続きで一般の方の参加を規制するイベントとなりました。今回は今までにない暖かい日和の中で行われました。世の中が混沌としている中、自然に身を置くと又新たな知恵と元気が湧いて来る気がします。桜が咲いて賑やかな粧いになって来ました、明るいニュースが飛び込んでくる事を期待しつつ。

諸塚村観光協会 理事長 尾形 浩一

お知らせ

令和4年度の「諸塚でやま学校しよう！」は、**ぷらっと** やります

季節のやま学校 **ぷらっと** 始動!

季節のやま学校 **ぷらっと** とは?

今までよりももっと感染症対策に配慮した少人数やま学校のこと。

1つの季節に1つの企画をご用意。最少4名～最大8名の少人数制にする代わりに、複数の日程を設定します。日帰りですが、これまでよりお一人ずつがしっかりとっぷり体験できるようになりました。

お一人での参加はもちろん、ご家族やご友人とご参加ください。



大人 5,000円/人 子ども 4,000円/人 村民・特別会員は500円割引 昼食付

料金には、体験代・昼食代・ガイド料が含まれています。金額はすべて税込です。

お申込・詳細はコチラ

「もろつかナビ」で検索

〈発行元〉 送付をご希望の方、送付中止をご希望の方は下記へ
〒883-1301

宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代 3068 しいたけの館 21 内
一般社団法人 諸塚村観光協会 まちむら応縁倶楽部

TEL:0982-65-0178 FAX:0982-65-0189

ecom@vill.morotsuka.miyazaki.jp



情報発信中! /

もろつかストア
Instagram
twitter
facebook
YouTube



しぜんと、
つながる。

諸塚村
Morotsuka Vill.

春のやま学校 ぱらっと

募集開始!

手摘みで手づくり釜炒り茶

開催:1回目 6月25日(土)・2回目 7月2日(土) 雨天中止

時間:9時~16時(しいたけの館21集合)

講師:菊池 始さん 会場:森の古民家やましぎの杜

日本で0.02%しか作られていない貴重な釜炒り茶は、諸塚村では昔から初夏に家族や親戚と作る恒例の「家庭の味」でした。世界農業遺産に認定された村の築100年を超す古民家の土間にある大釜で、昔ながらを作ってみませんか? 今年は2番茶で挑戦!出来上がった釜炒り茶は、お土産にお持ち帰りいただけます。参加申込は、各開催日の1週間前まで!



夏のやま学校 ぱらっと

詳細後日!

黒岳登山で希少植物に出会う

開催:1回目 8月11日(木・祝)・2回目 8月18日(木)・

3回目 8月19日(金)・4回目 8月20日(土) 雨天中止

会場:黒岳

毎年恒例の黒岳登山とキレンゲショウマ観察会、今年は4回開催です!キレンゲショウマだけでなく、数多の希少植物の宝庫である黒岳は、諸塚村最高峰。夏の暑い日に、標高1,455mの頂上で気持ちよく過ごしませんか?詳細は後日、次回の森の風の記憶と公式HPもろつかナビと各種SNSでお知らせします!



秋のやま学校 ぱらっと

詳細後日!

飯干溪谷散策

開催:

1回目 11月3日(木・祝)

2回目 11月4日(金)

3回目 11月5日(土)

会場:諸塚村内/飯干地区

秋のはのんびり溪谷散策!諸塚の滝を見に行きましょう。詳細は後日お知らせします!



冬のやま学校 ぱらっと

詳細後日!

和紙作りと原料作り

開催:

原料刈りと和紙漉き 2月11日(土)

原料皮剥と和紙漉き 2月12日(日)

会場:諸塚村内/あしすきや

原料の準備から一緒に体験!漉いた和紙は乾かしてから後日お届け。詳細は後日!



編集後記

飯干バイパスがいよいよ着工とのニュースが宮日新聞に出ました。ようやくここまで辿り着いた。 尾形

息子を連れて某地区の春祭りに参拝しました。神楽奉納が気に入ったようで、さっそく帰ってから「葉っぱを持って、(鈴を)シャンとならして、こうするとよ!」と真似っこしています。将来が楽しみ!? 田邊

脱衣所でゲジゲジに遭遇。私以上に慌てふためき、浴槽に登ろうとしてこけつつ逃げる様子に笑ってしまいました。 岩切

至る所で綺麗に咲いていた桜に元気をもらいました。桜が散っても寂しさを感じさせることなく次から次へと色々な花が咲き、山は新緑が色鮮やか。やっぱり春はいいですね。 金子

43年ぶりに諸塚村に住民票を戻しました。皆さんと一緒に諸塚のワクワクを創っていきたいと思っています。よろしくお願いします。 那須

今年も曙ツツジが可愛いピンク色で新緑の山々を着飾ってくれています。花粉症の私には辛い季節ですが、青々とした大空に新緑の葉木達を重ね見ると気分が晴々となります! 黒木



—以前このコーナーで紹介した吉永林業のYoutubeで公開中の林業女子の「初めてシリーズ」も1年経って15本の動画があがっていますね

伐採や、チェーンソー・刈払い機・重機の扱いやメンテナンスの仕方などの様子を撮影し公開してもらっています。最近、ちょっと成長してきた？様子も動画にあがっています。林業経験者や初心者の方も見てもらっているようで、コメントをいれてもらっています。

—動画をきっかけに1日密着取材が決まって、池田さんが主人公の移住促進PRビデオも公開されましたね！

プロの技で、本人も驚くほどのとってもカッコいい動画に仕上げていただきました(笑) 恥ずかしさも大きいですが…。動画をきっかけに林業や移住に興味をもってもらえたらうれしいです。

YouTubeで検索！

▶ Kigocoro CH 女性社員池田の初めてシリーズ

▶ himuka life 諸塚編

東京都出身 5人兄弟の長女
里山ボランティアに参加したときに
出会った山師のおっちゃんたちの
かっこよさにあこがれたのが林業との
出会い。「緑のふるさと協力隊」に参加
して、静岡県 の浜松市に1年間赴任
する。より林業をやりたいという思いが
強まり翌年に諸塚村へ移住。いくつか
の職場を経て2021年から吉永林業に
勤務し念願の現場で活躍中。



インタビューア：田邊

お知らせ

諸塚村で見られる 4 つのダムも登場♪

耳川水系のダム写真集が販売開始！

宮崎県北部を流れる耳川。この流域には8基のダムが作られ、豊富な水を利用した水力発電がおこなわれています。

そんなダムの写真集(もはや資料集?)が出来ました! 諸塚村からは

- ・完成時東洋一の高さを誇った塚原ダム
- ・日本で2番目に小さいアーチ形の宮の元ダム
- ・九州ではここにしかない中空重力式の諸塚ダム
- ・絶賛改装工事中の山須原ダム

の4つのダムが紹介されています。もちろん、閣下と呼ばれる上椎葉ダムや鐘の型のクレーンカバーが特徴的な西郷ダムなど、全8基を余すことなく掲載されています。特に、上椎葉ダムは圧巻のページ数です。

何と言っても(諸塚村的)見どころは、当時コンクリートに使用する砂を延岡市の海岸から運んでいた索道の写真が掲載されている所! 今では跡形もない索道ですが、上椎葉ダム建設の時には延伸されていたそうです。

他にも平成17年の台風被害についての情報、昭和30年頃の写真も掲載されていて、当時の様子に思いを馳せることも。ダムマニアじゃなくても、諸塚好きなら手元に置いておきたくなる写真集です。



九州の電源河川 耳川水系の今昔 with ダム

～地域と共に歩んだ90年とこれからの百年を目指して～

仕様:A4サイズ 122ページ フルカラー 2,000円(税込)

企画:九州電力株式会社 耳川水力整備事務所

ネットでのご注文は「もろつかストア」から!

<https://morokan.stores.jp/>

諸塚村内では、山本商店としいたけの館21にて販売中!

諸塚の人と自然に出会う日々 vol.5 昔ながらの山暮らし

移住者の目で見ると諸塚の人と自然をお届けします。

諸塚村には、標高800mの山の上にも集落があります。冬の寒さは厳しいけれど、集落から眺める景色は最高です。山で生まれ育って約90年、昔ながらの暮らしを営むカズあんちゃんとトク姉^{あね}に会いに行きました。

釜戸で火をおこし、秋に収穫したもち米と粟^{あわ}を蒸して、トク姉が子供の頃から食べている栗餅をつくってみせてくれました。搗きたてアツアツの餅は、ツヤツヤしていてなんともよい香り。その餅を、「簡単だよー。」と言いながら慣れた手つきでホイホイ丸めていくトク姉。淡い黄色がかわいらしいまん丸の栗餅がどんどん並んでいく傍らで、しわが寄った歪な丸餅ばかり作ってしまう私たち。「あっはっはー！売り物じゃないからいいよー。」と陽気にトク姉は笑ってくれました。



▲出来立て栗餅

形は悪くてもトク姉と一緒に作ったホカホカの餅は美味しくて、なんだか心までポカポカしてくるようでした。

必要なものは何でもお金で買える時代、ボタン一つでコンロに火がついて料理ができることも、蛇口をひねれば水道から水が出てくることも、当たり前でありがたいとはなかなか感じられなくなったこの時代に、手間暇かけて手づくりをすることで、釜戸で起こした火のぬくもりや釜で炊いたお米の香りが、失いたくない何か大切な感覚を呼び戻そうとしてくれるような気がしました。

昔は、山には水道がなくて、水を引けないから田んぼもなくて、山で日当たりのいいところがあれば、そこでせっせと作物を育て、皆で助け合いながら暮らしていたそうです。カズあんちゃんとトク姉の知恵袋からポンポンと飛び出す私たちの知らない時代の話は面白く、変わりゆく時代の中で、変わらない昔ながらの暮らしにある豊かさを感じました。自然の声に耳をかたむけ、火のぬくもりを感じ、季節折々の手しごとで営む温かみ溢れる暮らしが、いつまでも元気に笑っていられる暮らし方なのかもしれないと思いました。

金子



VIEW SPOT

諸塚村にやってくると出迎えてくれる赤い橋、夢の大橋。晴れの日はもちろん、雨で靄が漂う日も夕陽を受けてもライトアップされた夜も美しく、通るたびに高揚します。緑の中に映える赤が素敵です。

岩切